

りとにゆーす



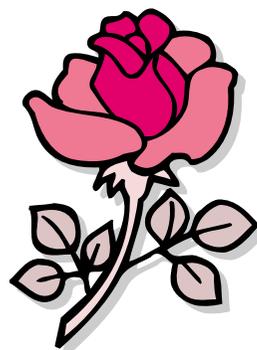
No.57 2008.4.1

新 入 生 歡 迎 号

● Contents ●

- ☆薔薇の名前 p.1
- ☆科学レポート入門 p.2~3
- ☆学科推薦本コーナー p.4~9
- ☆学生との懇談会を行いました。 p.9
- ☆ベストリーダー賞について p.10
- ☆ベストリーダー賞の表彰式が行われました。 p.10
- ☆“図書館オリエンテーション2007” から p.11
- ☆図書館オリエンテーション2008に参加しよう！ ... p.12

編集・発行 岡山理科大学図書館
〒700-0005 岡山市理大町1-1
<http://www.lib.ous.ac.jp>



薔薇の名前

図書館長／中島 聡

宮垣前学長と、ある時、ある書物について語り合ったことがあった。「初めにことばがあった。ことばは神とともにあり、ことばは神であった。」新約聖書ヨハネ福音書の冒頭の語から始まるこの書の題名は、イタリアの記号論者ウンベルト・エーコの著『薔薇の名前』(Il Nome della Rosa)である。

迷宮の構造をもつ図書館を備えた中世末14世紀の修道院で、歴史上実際にあった連続殺人事件をきっかけに、主人公バスカヴィルのウィリアム修道士は、鋭敏な推理で謎を解くなか、一冊の書物の存在を探り出すのである。それは古代最高の学識者ギリシアのアリストテレスの『詩学』である。しかし秘密とされていたこの禁断の書には、実は恐るべき砒素が塗られていた。砒素は無味無臭無色で、少量でも人体に極めて有毒であり、慢性の中毒症状としては、末梢血管の破壊による壊死、剥離性の皮膚炎や重度の色素沈着、骨髄や肝臓、腎臓の障害などがある。だがひたすら真実を知ろうとする修道士たちは、夜な夜な塔上の、手写された夥しい貴重な蔵書のある図書館へ忍んでは、仄暗い部屋のなか、かすかな灯りを頼りに、この書を探り、舐めた指先で頁をめくるのである。そして悲劇は起こったのである。

真理を知ろうと欲した熱い魂の灯りを吹き消したのは何故か。ひたむきに神のことばを求める者たちの生命を奪い去ったのは誰か。盲目の老司書ホルへの言うように、はたして図書館は「知識の保存であって探求ではない。知識に進歩はない」のであろうか。stat rosa pristina nomine nuda tenemus (過ぎし日の薔薇はただその名前だけが残る) ものの本質である薔薇の名と我々が恣意的に付けた薔薇の名。前者を希求することこそ、知識の探求・進歩を願う者の途ではないのか。

さあ！あなたも、魂の内なる灯火を高くかざして、知識の宝庫である図書館の森へ分け入り、真理を求める旅立ちを、今から始めてみませんか。

科学レポート入門

生物地球システム学科／富岡 直人

はじめに

取り組む時に必要なことは、課題を出した人物が何を求めているか意識することです。レポートには2種類あって、把握できた内容を写す単純な場合と、学説を分析して論考を既述する複雑な場合とです。いずれにせよ、求められているのは教科書の丸写しではなく、皆さんの学習による「達成度」を表現することです。ここでは図書館を活用して、どのようにレポートに取り組むべきか、複雑なレポートについての心がけと手法を紹介しします。

レポート製作の作業

レポート製作には、取材・分析・構成の作業があります。この各作業で全力を尽くすことが重要です。初心者は取材にだけ力を注いで、分析・構成がおろそかになることが多いのです。これでは、本を写しただけ、という評価になりかねません。このような失敗をしないためには、取材・分析・構成作業の時間をそれぞれ十分に確保することが重要です。

取材とは？

いきなり図書館の本棚に向かい、資料探しすることは慎みましょう。最初に教科書や推薦図書を読みます。本を読むには、時間をかけすぎず、メモを過剰にとることもせず、最初は一気に読んで、その後に読み直す習慣を持ちましょう。一見「かったるい」かも知れませんが、レポートにアセリは禁物です。

その後、必要な部分を読み直して、メモをとると良いでしょう。図書は過剰にコピーしないこともコツです。コピーをとるだけで、安心して、内容をロクに読まない人物が数多く見受けられます。コピーという手間のかかる作業を、分析という難渋する作業の「代償行為」にして、分析する前に、非頭脳労働に充実感を味わってしまうワケです。ですから、コピーにお金をかけて代償行為の落とし穴にハマルより、図書館の限られた開館時間内に集中して取材し、メモ・下書きをつくって作業を進めることがお勧めですし、経済的で親孝行ってモノです。

参考図書（引用文献）の探し方

レポートにはその内容を裏付ける文献の引用が必要です。これは科学で必要な「引用証明」というお作法の一端にあたります。引用されたり参考にされた図書は、参考図書と呼ばれます。これについては、過去20年以内の比較的新しい文献を使用することが望ましいと言えます（過去5年以内の図書が本来望ましいのですが、過去5年に良書が出版されているとは限らないのがイタイ所です）。

原典や実物を実際に分析して書かれている文献を利用することがコツです。さらに学術的にしっかりした構成を持つ図書を利用することも重要です。学術の高さを推量するには、その図書が参考図書を掲載してい

るか確認すると良いでしょう。

考察メモの記録法

レポートの課題に沿って内容を把握したらルーズリーフやワープロソフト、あるいはマイクロソフト社のパワーポイントのような自己表現（企画書やプレゼンテーション）を援助するコンピュータソフトに要点を抜き書きします。

私は、A4ルーズリーフの愛用者です。ルーズリーフを片面のみ使用するのもコツで、このようにすると後のデータ整理が楽にできます。ルーズリーフを指定するのは、ノートを分解して、自由に配置を変更できるからです。

図書や論文を写したり、引用したりする毎に、どこからその内容を写したのか、ルーズリーフにハーバード方式の引用を書き込み（例 「この説は、富岡[1997]による・・・」をする）とともに、使用した図書は参考文献リストに記述しましょう（例 富岡直人1997 「札幌市K39遺跡長谷工地点出土の動物遺存体」『K36遺跡長谷工地点』[札幌市教育委員会]： pp.137-150, p.254）。

分析とは？

分析とは要素ごとにバラバラにすることです。この作業は因数分解に似ています。集めた図書を読んだらその内容を意味が通じる範囲で要素に分け、バラバラにしてみましょう。それが学説分析の第1歩です。ただし、本題と無関係な部分までやっていたら時間がなくなってしまうので、適切な部分を集中して分析しましょう。場合によってはメモを書き込んだルーズリーフをハサミで切断して貼り直し、メモを再構成することもあります。

分析に際しては、自分の意見や客観的事実を明らかにする為の下書きが重要です。引用なのか、オリジナルの意見なのか、明確にわかるようにメモをとります。特に自分の疑問点をルーズリーフに書き付けることは重要です。書き付けながら、図書を読み進めていくと、理解が深められるでしょう。

著作物の前提条件・作業仮説を探る

疑問が解消しきれない場合、事典類を利用しながら検討を深めましょう。これは専門的に言えば内的批判に通じます。筆者の錯誤や論証不十分な内容を追求する姿勢、これが分析に必要です。読み手である自分にとっても、「当たり前」と感じやすい「前提条件」を疑ってみること、著者の「作業仮説」を疑ってみること、論証プロセスにおける論理の飛躍を追求すること等が有効です。

読んだ論文の改善策を考える

ただし、この場だけで止まっているは「残念！」です。君達に是非考えてもらいたいことは、「次に何を

すればこの研究はよりよい方向に進むことができるか」示すことです。就職活動において、エントリーシートなどで「会社の将来について改善策を提案してください」といった質問や課題が出されることがあります。レポートでも、常に改善策を考えること。これが重要な学習のポイントです。

明確な結論を示す図書は正しいとは限らない点も注意して下さい。筆者が意図的に読者を操作し、自説が正しいと思こませようとするトリックが存在する場合があります。この場合、推論にせよ、自然科学的分析にせよ、単純化され、全ての証拠が一つの真実に結び付くように説かれることがあります。これは、一見して判りやすいので「良い」と思われがちですが、「正しい」とは限りません。現実には忠実で、自然科学的手法に謙虚に従う研究者程、結論としていくつもの可能性を指摘する状態に止まりがちです。しかし、あえてそのような研究を評価することも、時には科学的に重要なのです。

勿論、そこから研究を進めて、他の可能性を排除し、一つの可能性を論証することも重要な取り組みです。しかし、レポートではその段階にまで行き着くことは大変困難なことです。ですから、自然科学分析や統計学的分析については、媒介となる条件を明確にし、どのような分析をすればより正確な真実にアプローチすることが出来るか、提案することが重要でしょう。

軽視されがちだが重要な構成

取材した内容と、まとめた意見をレポートに仕上げするには、構成力が必要です。構成力には、自分の知識や意見を言語や図表で示す「表現力」と、他者に理解しやすいように効果的に言語や図表を配置する「編集能力」が含まれます。

取材メモをまとめたパワーポイントの画面をプリントアウトしたり、ルーズリーフをテーブルに広げたりして作業開始です。この時に、第三者が読んで判りやすいように配置を工夫することがコツです。その際にできるだけ「章」を意識しましょう。

文章に取り込む

文章は、「だ、である調」で既述します。科学レポート・論文は、アルファベットや数式が入るためと、海外で通用する紙の規格が望ましいため、A4用紙の横書き黒インクが基本です。手書きの場合は、万年筆やボールペンと先生方が指定する原稿用紙（あるいはレポート用紙）を用意してください。ワープロの場合、書式設定を横書きにしましょう。

読み手が読みやすいように、35～45字30～50行程度の体裁が良いでしょう。活字は9～12ポイント前後がお勧めで、フォントは日本語が全角の明朝体、英数字は半角のCenturyが基本でしょう。老眼の先生でゴシック体を推奨される方もいます。読み手を意識して適宜選択して下さい。最近では、携帯メールの影響か、日本語のカタカナを半角で記述する学生が居ますが、マナー違反になります。

英数字は、英語と数字のことです。このページは、

英数字半角と日本語全角のルールで製作しているので、参考にして下さい。例えば1965が全角で1965が半角です。

章や節の見出し語は、ゴシック体（あるいはゴシック体）や強調文字・太字や1.2ポイント大きいフォントにすると、わかりやすい構成にできます。

章を区切り配列を考える

章は階層を意識して適宜分けず。読み手が理解しやすいように、要点をまとめた章の名前を付けると良いでしょう。

よく、レポートの最初に「はじめに」や「要旨」を書こうとして、作業ができなくなった学生さんに出会います。このようなレポート全体を代表する文章は、一通り書いてから直すつもりで下書きするのが良いでしょう。つまりレポートは頭から書いて末尾で終わるのではなく、頭の部分、体の部分、尻尾の部分を行きつ戻りつ下書きしたものを見直して清書することで仕上げるものです。ワープロの場合も時々プリントアウトして見直す必要があります。また、段落を分けることも、章の内容をわかりやすくするためのテクニックです。

レポートにはできるだけ自作あるいはアレンジした図や写真、表やグラフを掲載するように心懸けましょう。これは、強烈な自己アピールにつながります（皆さんも本を買ったり借りたりすると、まず挿絵を探してめくったことはありませんか？論文も印象深くなるのはそんな図や写真、表やグラフなのです）。自分が取材したメモが、他人に理解しやすい図表に変化していくことは、楽しい経験です。

他者に読んでもらう

文章に行き詰まったら、友人（あるいは家族）にお願いして、試作したレポートを読んでもらいましょう。読みにくい表現、意味不明の内容を指摘してもらい、それを口頭で直してみる。また、「この意味がわからない」「先にこの部分がないと読みにくい」「この図の説明を図の下につけて欲しい」といったようなアドバイスをもらって書き直す……。その時、くれぐれも「あなたは素人だからこのレポートの意味がわからないんじゃない！」といった逆ギレをおこさないようにしましょう。就職して社長にレポートを出す場合にだって、専門的な内容になったらなかなか理解されにくい文句を言われることがあるのですから、専門家じゃなくてもわかるように書くテクニックを伸ばすことは大変良い経験ですし、実は皆さんの基礎学力を向上させることに結びついて行きます。このような過程は、君達の「構成力」を飛躍的に伸ばします。是非億劫がらずにやってみてください。「構成力」の究極の目的は、「他者に判りやすいプレゼンテーションをする」ことです。これは就職活動に大変役立ちます。

このようにしっかりとレポートの構成力を養っていけば、卒業までには、もう誰かに読んでもらわなくても、君達は十分な構成力が発揮できるようになる筈です。

学科推薦本コーナー

理学部、工学部、総合情報学部の各学科の先生が、新入生の皆さんに読んで貰いたい本をご紹介します。これからの大学生活の中で、学ぶ分野は学科によって異なってきますが、自分が在籍している学科のみならず他の学科の先生の推薦する本も是非読んでみてください。

理学部

①タイトル ②著者 ③出版者 ④推薦コメント ⑤推薦者

応用数学科

①モスクワの数学ひろば2 ～幾何篇／面積・体積・トポロジー～

②ゲイドマンほか著・蟹江幸博訳（蟹江幸博監修） ③海鳴社

④オイラーの流れをくむロシアの数学は、若い才能を育てることに力をそそぐ伝統がある。

1934年からモスクワ大学で高校生向けの公開講座が開かれ、コルモゴロフ、ゲリファント、ポントリヤーギンなど伝説的な数学者が講義をしてきました。

その伝統を受け継ぐモスクワ独立大学での講義から、選りすぐって翻訳です。 ⑤高嶋恵三先生

①モスクワの数学ひろば3 ～代数篇／対称性・数え上げ～

②パラモノヴァ他著・武部尚志訳（蟹江幸博監修） ③海鳴社

④上記の本の姉妹編。次の三つの話題からなる：パラモノヴァ「数学における対象性」、ヴァインベルク「多項式の対称性」、コーハシ「ルーク数とルーク多項式」。 ⑤高嶋恵三先生

化学科

①新化学読本：化ける、変わるを学ぶ ②山崎幹夫著 ③白日社

④この本では、「化学」を「変化を知る学問」ととらえ、21種類の代表的な有機化合物について発見の歴史などをわかりやすく説明しています。化学構造式が随所に出てきますが話のおもしろさにどんどん引き込まれますので、楽に読み進めることができると思います。 ⑤若松寛先生

①原子論の歴史（上・下） ②板倉聖宣著 ③仮説社

④高名な物理学者のファインマンが「後世にたった一つの文章しか残せないとしたら、それは原子仮説だろう」ということを言ったということが紹介されています。この本には古代ギリシャから20世紀までの原子の発見にまつわる話がやさしく書かれています。ものごとの本質がよくわかるように書かれており、名著だと思えます。 ⑤大谷槻男先生

応用物理学科

①不都合な真実：地球温暖化の危機。ECO入門編

②アル・ゴア著 枝廣淳子訳 ③ランダムハウス講談社

④地球温暖化の広範な詳細なデータや写真を通して、如何に温暖化がスピードアップされているかが鮮明に描かれ、ただ便利さだけを追求して来た消費社会をも再構築しなければ益々住み難い地球になる。今こそ、各人が何らかのエコ活動を起こす事が必要。新入生諸君必読の書。 ⑤大森健三先生

①岡山孤児院物語：石井十次の足跡 ②横田賢一著 ③山陽新聞社

④路面電車門田屋敷駅北に岡山博愛会病院があります。その玄関左に胸像があることをご存知でしょうか。今から百年ほど前、民間施設である岡山孤児院を設立した石井十次の胸像です。この福祉の父と言われる石井十次の足跡をたどってはいかががでしょうか。 ⑤尾崎眞啓先生

①**4次元の林檎：柔らかい数学の柔らかい空間** ②大上丈彦著 ③荒地出版社
 ④高校数学を題材に、独特の口語体で、数学を「普通とは全然別系統の教え方で」語る。数学の好き嫌いにかかわらず、引き込まれること請け合い。学問一般に対するスタンスとしても参考になる。“三部作”の他の著書「数学のできる人できない人」「むずかしい微分積分」もオススメ。 ⑤山崎洋一先生

①**ポアンカレ予想を解いた数学者** ②Donal O'Shea著 糸川洋訳 ③日経BP社
 ④地球の形が理解されてきたプロセスも書かれているこの本には、ユークリッド幾何学から、非ユークリッド幾何学、位相幾何学、微分幾何学へと発展した数学の歴史が分かりやすく語られ、「なぜ」という疑問から発した好奇心が、学問することの面白さであることに気づかせてくれます。 ⑤小林祥一先生

①**薬の話** ②山崎幹夫著 ③中央公論社
 ④ペニシリン、モルヒネなど多数の身近な薬品開発のドラマと、効能や副作用のメカニズムを多彩なエピソードを混じえて語っている。文学の話なども出てくるが、化学構造がきちんと示されている。同著者の「毒の話」も併せて読むと化学物質と生命の関わりを楽しく勉強できるだろう。 ⑤大平進先生

①**私たちの生化学** ②井本稔著 ③東海大学出版会
 ④高分子化学を専門としてきた著者が「生化学の中心の道筋だけを書いたような素人むけの本があればいいな」という思いから書き下したものである。基礎的ではあるが非常に広範で学術的な内容を含むので、読破するというより、興味あるところを拾い読みするとよいだろう。 ⑤大平進先生

①**メディア・バイアス：あやしい健康情報とニセ科学** ②松永和紀著 ③光文社
 ④世の中に氾濫する食品情報、健康情報。「○○は危険!」「△△が効いた!」などなど。でも、それって本当に正しい情報なの?この本を読めば、食品情報、健康情報の真贋の見きわめ方とその報道の裏側がわかります。食と健康を学ぼうとする学生にお勧めの1冊です。 ⑤関明彦先生

①**健康...夢人生：暮らしと健康のエッセイ集**
 ③(社)日本衛生検査所協会 星雲社(発売)
 ④俳優、お天気キャスター、医師、管理栄養士、大学教授など多彩な執筆者が暮らしの中の健康をテーマにつづったエッセイ集で、健康の科学を学ぶ臨床生命科学科の学生にとって興味のある内容が含まれている。 ⑤篠田純男先生

①**コルバート脊椎動物の進化 (第5版)**
 ②エドウィン H. コルバート、マイケル モラレス、イーライ C. ミンコフ著 田隅本生訳
 ③築地書館
 ④この本は古脊椎動物学の教科書である。古脊椎動物学とは、背骨のある動物の化石を対象とした学問であり、日本語で記された教科書はきわめて少ない。この本は、入門書としては難解であるが、古脊椎動物学に興味のある学生にとっては必読書の1つであろう。 ⑤名取真人先生

①**脊椎動物のからだ：その比較解剖学**
 ②A. S. ローマー、T. S. パーソンズ著 平光厲司訳 ③法政大学出版
 ④背骨のある動物の進化を研究するには、その動物のからだの構造を知らなければならない。そして、この分野のことを比較解剖学という。「脊椎動物のからだ」は、比較解剖学で最も有名な教科書である。この分野に興味のある学生は是非でも読んで欲しい。 ⑤名取真人先生

工学部

①タイトル ②著者 ③出版者 ④推薦コメント ⑤推薦者

バイオ・応用化学科

①**新版 きけわだつみのこえ：日本戦没学生の手記**

②日本戦没学生記念会監修 ③岩波書店

④「来週軍隊に入り、戦闘機の操縦を習って敵艦に特攻せよ。」と国に命令されたら、皆さんはどうしますか。この本は、国や家族を守れると信じて戦争で亡くなった、学問を修めて社会で活躍すべきであった人達の遺稿集です。この本を読んで、存分に勉強や研究ができる幸せをかみしめて下さい。

⑤大塚隆尚先生

①**ゾウの時間ネズミの時間：サイズの生物学（中公新書）**

②本川達雄著 ③中央公論社

④ゾウとネズミどちらが長生きでしょうか？長生きする方がトクでしょうか？動物にとっての時間はサイズで決まり、両者の心臓はともに20億回働いて息絶えます。

一見同列には論じられないモノの中にこそ本質が潜んでいます。科学の真理探究のため、本質を見極める能力を養ってください。 ⑤平野博之先生

機械システム工学科

①**石油最終争奪戦：世界を震撼させる「ピークオイル」の真実**

②石井吉徳著 ③日刊工業新聞社

④1970年代の「オイルショック」以来、30年ぶりの石油高騰である。本書は、再び台頭してきた「石油枯渇論」を正しく理解するため、「有限の地球資源とは何か」、その本質「ピークオイル」を枯渇と混同しないための啓蒙書である。一方、エコノミストは「ピークオイル」の真実を軽視している。30年前の学生時代、ガソリンとカップラーメンを求めて都内を徘徊した小生が、現代の学生諸君に警告の意味をこめて推薦する1冊である。 ⑤高見敏弘先生

①**粉飾の論理** ②高橋篤史著 ③東洋経済新報社

④技術者が知らず知らずのうちに粉飾に荷担している。ビジネス・コンプライアンスに違反する企業風土が世界中で蔓延している。本書は、序章・虚業ライブドア、1章・カネボウの罪、2章・メティアリンクスの罰、3章・監査法人の死で構成され、1990年土地バブルの崩壊、2000年ITバブルの崩壊によってもたらされた金余り経済とリストラ（構造転換）の社会で、サラリーマンが陥った闇の過程を克明にドキュメントした真実である。2章に岡山の著名なデパートが一瞬登場する。企業体験のない若者に、企業の別面を知ってもらうため、本書を推薦する。 ⑤高見敏弘先生

電気電子システム工学科

①**科学的に説明する技術：その仮説は本当に正しいか**

②福澤一吉著 ③ソフトバンククリエイティブ

④本書は「科学とは何か」「科学的説明とは何か」について理解を深めることを目的として書かれたものです。そして、なにより本書が伝えようとしていることは「科学的思考、手法の面白さ、楽しさ」です。皆さんがいつそ科学への興味を持たれることを切望します。（一部本文より）。 ⑤栗田満史先生

①**液晶、その不思議な世界へ：携帯電話、テレビ画面から始める現代の科学**

②小林駿介著 ③オーム社

④「どうして、液晶に絵が映るのか？」という原理や「液晶がディスプレイになるまで」の歴史を携帯電話やテレビ画面といった身近な素材を例に詳細に解説していて、初心者にも読みやすい。もちろん、専門的に液晶について勉強してみたい人にも読み応えがあります。 ⑤道西博行先生

① **不思議な数 π の伝記**

② Alfred S. Posamentier, Ingmar Lehmann 著 松浦修輔 訳 ③ 日経BP社

④ 小学校で円周について習って以来親しんでおり、数学のいたるところに顔を出す不思議な数「 π 」に関する本である。 π の紹介や進展の歴史、様々な計算法や π に魅せられ計算と格闘した先人たちの足跡などから構成されている。 π を通して数学の面白さや美しさを発見でき、「楽しめる」本でもある。

⑤ 南原英生先生

① **物語の役割 (ちくまプリマー新書)** ② 小川洋子 著 ③ 筑摩書房

④ 人はなぜ物語を必要とするのか。「私は物語を作り出しているのではなく、物語はそこにあり、ただそれをそのまま書いているだけです」と著者は言う。自分が生きるための物語の探し方を教えてくれる本である。作家の物語の作り方を通して、自分探しの旅に出よう。 ⑤ 吉田誠先生

① **オンリーワンを求めて：科学を選んだ先輩からのメッセージ**

② 滝澤昇、佐藤幸子 編 ③ 近代科学社

④ 研究で新しいことを考えたり、新しいことをみつけるのは、心踊る楽しいことです。

この本は、36人の研究者（知能機械工学科の教員5名を含む）が、どんなきっかけで研究に入り、何を面白いと思っているかをまとめた本です。この本を読んでぜひ研究に興味を持ってください。

⑤ 山田訓先生

① **ゲーデル、エッシャー、バッハ：あるいは不思議の環**

② ダグラス・ホフスタッター 著 野崎昭弘、はやしはじめ、柳瀬尚紀 訳 ③ 白揚社

④ 1980年代後半、大学生だった私が友人の本棚からGEBを見つけることになったのは、隣にあった赤と緑の本がきっかけ（俗と雅）でした。ご一読頂くには余りある内容で、時間と気力に恵まれない方は、興味のある章を拾い読みしてみても十分な本と言えるでしょう。 ⑤ 藤本真作先生

① **もしも月がなかったら：ありえたかもしれない地球への10の旅**

② ニール・F・カミングス 著 竹内均監修 増田まもる 訳 ③ 東京書籍

④ 月がなかったら他に、地球の質量が小さかったらとか、地軸がもつと傾いていたら等々、幾つかの設定を天文物理学に基づきながら検証し、そこではどのような生物が生活したであろうか、はたして人類は誕生したであろうか等を考えていく本です。2005年の愛知万博のテーマ館のひとつになったことでも有名な書籍です。「もしも」の世界を考えることによって、現在の地球環境と生物の進化との関係を考えさせられる一冊です。 ⑤ 内貴猛先生

① **不都合な真実：切迫する地球温暖化、そして私たちにできること**

② アル・ゴア 著 枝廣淳子 訳 ③ ランダムハウス講談社

④ 大気中のCO2濃度上昇による地球温暖化によって地球規模での気温上昇がすでに始まっているのでしょうか？2007年の夏が暑かったと感じているあなた、本書では多くの写真により現在の地球で起こっている地球温暖化現象や、今後私たちにできる対策を紹介しています。地球環境に興味のある皆さんにぜひお勧めします。 ⑤ 猶原順先生

総合情報学部

①タイトル ②著者 ③出版者 ④推薦コメント ⑤推薦者

情報科学科

①コンピュータシステムの基礎 (第14版)

②アイテック情報技術教育研究部編著 ③アイテック情報処理技術者教育センター

④コンピュータシステムの基礎テキストとして、コンピュータ技術、通信技術、情報システムの開発などの激変している情報技術を全面的に分かり易く学習できる書物である。 ⑤劉渤江先生

①自然科学における数学的方法

②G. ボーヤ著 細川尋史訳 ③シュプリンガー・ジャパン

④自然現象を考える際に、これまでの物理や化学など学んだ知識を過去の偉人達の数学的解析手法を改めて考えてみようという内容である。数式など多少難しいが話として読むといろいろな考え方の流れが分かる書物である。 ⑤河野敏行先生

コンピュータ・コミュニケーション学科

①生きるヒント ②五木寛之著 ③角川書店

④敗戦後わずか数年で経済復興、高度経済成長を成し遂げた。

豊かなはずであるが、年間3万人もの自殺者が出ている。人が生きるということは、どうということなのか、静かに考えてみる手助けとなる本である。 ⑤藤井勝彦先生

①17歳のための世界と日本の見方：セイゴオ先生の人間文化講義

②松岡正剛著 ③春秋社

④若いときに、世界と日本の相互関係の歴史をしっかりと見ておくことは、非常に大切である。国や民族の文化や宗教がどのように発生し変化し、対立や融合を生んでいったのかを知ることは、生きていく上で直接役立つようなことはなかるうが、物事を考えていく上での大局観を養ってくれるはずである。

⑤藤井勝彦先生

生物地球システム学科

①ほくらの村にアンズが実った：中国・植林プロジェクトの10年

②高見邦雄著 ③日本経済新聞社

④この本は、植林を通じて環境問題に取り組んでいるあるNGOの感動的な記録である。「問題は全地球的に考え、実践はできることから」をモットーに、黄砂吹きすさぶ乾燥地帯での植林活動の記録は、環境問題にどう取り組むかということだけでなく、植生のとらえ方としても興味深い。 ⑤鳥居雅之先生

①共生生命体の30億年 ②リン・マーギュリス著 中村桂子訳 ③草思社

④原始地球に登場した単細胞生物が、現在の精緻な生物にまでどのように進化してきたのかは、科学者だけでなく宗教者までを激しい論争に巻き込んできた。著者は「共生」という挑戦的なアイデアを振りかざして、この論争に激しく挑んできた。生命に興味があるなら一読に値する本である。 ⑤鳥居雅之先生

社会情報学科

①格差社会：何が問題か ②橋木俊詔著 ③岩波書店

④日本の格差問題の第一人者が、さまざまな社会統計データを用いて、「格差社会・日本」の現状を詳細に検証し、そのゆくえを問う。格差論の決定版、と評価。 ⑤泉俊弘先生

①「吉備の中山」と古代吉備 ②薬師寺慎一著 ③吉備人出版

④著者は、吉備の中山のふもとに在住し、吉備の中山を徹底的に調査されてきた歴史家です。吉備の中山には、かつては天皇も信仰された吉備津神社・吉備津彦神社があり、まさに吉備＝岡山の中心地だったところです。岡山で学び、暮らす人間としては、ぜひ読んでおきたい一冊です。 ⑤志野敏男先生

①連戦連敗 ②安藤忠雄著 ③東京大学出版会

④社会的文化資産としての建築物の企画設計、特に競技設計に関する現場からの生々しい報告である。競技設計に応募する過程の詳細や競争相手との比較等興味深いエピソードを交え、読み物として読んでも楽しい。そのなかで、今日の建築物が担わなければならない社会的役割、特に環境問題との関わりが詳しく紹介されている。東大での講義のノートであるが誰にでも読める優れた著述である。 ⑤西岡利晃先生

①ローマ人の物語1～15 ②塩野七生著 ③新潮社

④現代社会に多大な影響（特にヨーロッパ）古代ローマの通史。多くの歴史書に比べ、技術、工学（特にインフラストラクチャ）に関する記述が多く、シーザとクレオパトラの恋物語やブルータスによる血まぐさい暗殺等とともに、これらが人間生活に及ぼす関係が浮き彫りにされ、面白くてためになる。15巻の大部だが、どこからでも読める。 ⑤西岡利晃先生

学生との懇談会を行いました。

2008年1月17日（木）、ベストリーダー賞に選ばれた4年生9名、1年生6名の学生・図書館長・図書館職員の間で懇談会を行い、下記の様な要望がありました。

(学生) 図書館のホームページから、自分が現在、借りている図書については分かるのですが、過去に借りていた図書についても見られる様にできませんか。

(職員) 図書館のホームページから、過去の貸出履歴を見ることはできませんが、業務用の端末からは過去の履歴を出すことができます。必要な場合は、カウンターの職員までご相談ください。

(学生) 岡山理科大学図書館の図書には、なぜカバーをつけないのでしょうか。

(職員) 理工系の図書の場合、何十年も前に出版された図書を使うこともあります。この様な図書も提供できるように、図書館は資料保存を行っています。図書本体は長期保存が可能ですが、カバーについては、何度か使用していくと破れるため、長期保存が難しく、公共図書館では、フィルムコートしていますが、これを行う予算もないため、本館ではカバーを外して配架しています。

(学生) 現在、図書館は9時に開館していますが、特に試験期間中はもう少し早く開くようにできませんか？

(職員) 職員の勤務時間が9時からなので難しいです。試験期間中は、数分でも早く開けられるように職員としては頑張っています。しかし、それ以上早い時間での開館となると、アルバイトを雇うなどの必要があり、これも予算がないので、できません。

(学生) 11号館3階の暖房ですが、少し強すぎではないでしょうか。

(職員) 11号館の冷暖房は、建築当初の20年以上前のセントラル・ヒーティングです。そのため、温度設定がなく、ON/OFFしかできません。暖房や冷房が効きすぎているときは、スイッチを切るようにしてください。なお、この冷暖房設備は、古いもので不具合も出ています。何年か先には温度設定ができる設備に変えるよう検討しています。

詳細については、岡山理科大学図書館ホームページの「イベント[記録]」にてご報告しています。

ベストリーダー賞について

岡山理科大学図書館では、常々、勉学熱心な学生を表彰したいと考えていました。そこで、**ベストリーダー賞**を制定しています。

賞の概要

4年生は、3年前～今年12月まで、新入生は入学した年次の4月～12月までで、各分野貸出数の上位1位～3位までの18名の方が表彰されます。副賞もあります。お楽しみに♪

- 対象者／**ベストリーダー大賞** 岡山理科大学 4年生対象
ベストリーダー新人賞 " 学部新入生対象
- 分野／●理工系分野 (分類400～599)
 - 人文・社会科学分野 (分類000～399、600～899)
 - 文学分野 (分類900～999)



ベストリーダー賞の表彰式が行われました。

2008年1月17日(木)、ベストリーダー賞(ベストリーダー大賞・新人賞)の表彰式を行いました。今回の大賞・新人賞の各部門1位受賞者は、次の方々です。

ベストリーダー大賞

◇ 理工系分野	臨床生命科学科	葛西理佳子さん	(510冊)
◇ 人文・社会科学分野	生物地球システム学科	大西雄三さん	(138冊)
◇ 文学分野	情報工学科	喜岡信博さん	(123冊)

ベストリーダー新人賞

◇ 理工系分野	建築学科	中村宗樹さん	(134冊)
◇ 人文・社会科学分野	臨床生命化学科	福岡祥子さん	(62冊)
◇ 文学分野	生物化学科	武田淳司さん	(191冊)



**受賞の鍵は、継続的な
図書館の利用です。
ぜひ、4年間を通して
図書館を使ってください!!**

詳細については、岡山理科大学図書館ホームページの「イベント[記録]」に掲載しています。

“図書館オリエンテーション2007”から

新入生みなさんに理大の図書館について知ってもらい、図書館を上手に利用して頂くことを目的として、“図書館オリエンテーション2007”を昨年4月7日(土)から13日(金)までの6日間実施しました。他の行事の合間や休み時間を利用して、743名の新入生が参加してくれました。

内容は、図書館施設のパワーポイントでの説明、図書館員の案内による11号館図書館の館内ツアー、OLION(PC)端末による図書館資料検索実習(またはパワーポイントによる説明)でした。

“図書館利用の達人”になる第一歩として、新入生みなさんには“図書館オリエンテーション”に是非参加されるようお勧めします！

今年度の“図書館オリエンテーション2008”のお知らせが次のページにあります。

“図書館オリエンテーション2007”アンケート結果から

【図書館オリエンテーション参加について】

- ・ 図書館を利用するにあたって、とても必要で重要な話で内容もわかりやすかった。
- ・ 説明がわかりやすかったです。資料の数が多くてびっくりしました。
- ・ 担当者の説明もパワーポイントでの説明もとてもわかりやすかった。
- ・ 理系・文系と分けて本が置いてあり、自分の探している本がどこにあるのかが分かるので大変よかった。

【施設・設備等について】

- ・ 広くて、多くの本や雑誌があり検索もできて有意義に使いそうだった。
- ・ OLION端末で、本の貸出状況がすぐに分かることが良かった。
- ・ OLION端末を使用して本の検索ができることが良かった。
- ・ 電動書架がすごかったです。
- ・ 図書館が3館あることに驚きました。

図書館員から一言……

理大図書館にはあらゆる分野の図書や雑誌はもちろん、ビデオ・DVD・CD-ROMなどの視聴覚資料も豊富に揃っています。また、レポート作成や卒業論文作成に欠かせない各種データベースも利用できるようになっています。図書館利用上達の第一歩は、それらの資料が何処にどのように並べられているかを知ることです。情報の宝庫である図書館をみなさんに最大限に利用してもらえよう、図書館員も助力を惜しみません。分からないことがあったら、気軽に声をかけてください！



図書館オリエンテーション2008に参加しよう！

図書館オリエンテーション2008

みなさんに理大の図書館について知ってもらうために、図書館オリエンテーションを行います。

参加を希望される方は、下の申込用紙にご記入の上、4月5日の学科別オリエンテーション当日、会場に準備する回収箱に入れてください。あるいは、各図書館カウンター付近の回収箱に入れるか、カウンターの職員に渡して下さっても結構です。

参加日当日は、ご希望の時間に11号館図書館1階玄関ホール付近に集合してください。もちろん飛び入り参加もOKです。

また、参加希望者でスケジュールの合わない方は、カウンターにご相談ください。

- 内 容：① 図書館各施設の紹介（パワーポイントでの説明）
② 11号館図書館の館内ツアー
③ OLION（PC）端末による図書館資料検索実習（またはパワーポイントによる説明）

- 日 程：平成20年4月 7日(月)・ 9日(水)
9:30～16:45（随時…一定の人数が集まるごとに開始）
※ 参加人数によっては、内容の一部のみ実施となる場合があります。

平成20年4月10日(木)・11日(金)
13:15～ 14:15～ 15:15～（各日3回）

図書館ホームページ利用講習会

この講習会は、図書館の資料を探すだけでなく、インターネットを利用して外部のサイトやデータベースに接続し、出版情報や学術文献情報などを入手するための講習会です。みなさんがレポートを書いたり、また卒業研究などを進めるにあたり役立つ情報を案内する予定です。

参加の申し込みは、各図書館カウンターの図書館員にお尋ねください。

- 内 容：インターネットを利用した外部の情報機関が提供する学術情報検索等
日 程：平成20年5月9日(金)以降の月曜日と金曜日
16:00～17:00

きりとり

図書館オリエンテーション2008 参加申込用紙

学部 _____ 学科 _____ 申込者氏名 _____

参加希望日時

- 4月 7日(月)・ 9日(水)
9:30～16:45（随時）

- 4月10日(木)・11日(金)
13:15～ 14:15～ 15:15～

(参加を希望する日時をそれぞれ○で囲んで下さい。)

図書館 オリエンテーション

(本人控え)

4月 日 ()

時 分～